

資料—6

尾原ダム水源地域ビジョンの広報の状況

1. 広報計画に基づく実施内容

平成25年1月17日

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

1. 広報計画に基づく実施内容

①ホームページ

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会での協議内容や資料を国土交通省出雲河川事務所ホームページ上に専用コーナーを設け、広く水源地域ビジョンの策定状況を発信します。

また、島根県、及び雲南市、奥出雲町については、専用コーナーへのリンク設定を実施し、地域住民等に水源地域ビジョンの策定状況を発信します。

【実施事項】

- ◆ 第1回策定委員会の結果を、出雲河川事務所ホームページの専用コーナーで公開 10/1
(設立趣意、規約、委員会名簿、配布資料、議事要旨等)
- ◆ 島根県土木部斐伊川神戸川対策課のホームページに専用コーナーへのリンク設定 10/5
- ◆ 島根県雲南県土整備事務所のホームページに専用コーナーへのリンク設定 10/11
- ◆ 雲南市のホームページに専用コーナーへのリンク設定 10/11
- ◆ 雲南市ホームページにニュースレター (PDF) を掲載 11/13
- ◆ 尾原ダム管理支所ホームページに尾原ダム水源地域ビジョンニュース (PDF) を掲載 11/15

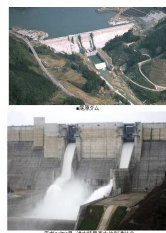


出雲河川事務所ホームページ



島根県雲南県土整備事務所ホームページ

雲南市ホームページ



島根県土木部斐伊川神戸川対策課ホームページ

③ニュースレター

策定委員会やさくらおろちを活性化する会における議事内容や、発言内容などをわかりやすくとりまとめたニュースレターを作成し、地域住民等に策定状況などを周知しています。

【実施事項】

- ◆ 第1回策定委員会の結果を掲載した「尾原ダム水源地域ビジョンニュース（創刊号）」を発行 9/24
- ◆ 第1回作業部会の結果を掲載した「尾原ダム水源地域ビジョンニュース（第2号）」を発行 10/26
- ◆ 第2回活性化する会の結果を掲載した「尾原ダム水源地域ビジョンニュース（第3号）」を発行 11/28
- ◆ 第3回活性化する会の結果を掲載した「尾原ダム水源地域ビジョンニュース（第4号）」を発行 12/25
- ◆ 関係行政機関や道の駅など41施設に配布

④公報

島根県や雲南市、奥出雲町が発行する公報を活用し、水源地域ビジョンの策定状況や策定スケジュールなど、水源地域ビジョンに関する情報を発信し、地域住民等の関心の喚起を目指します。

【実施事項】

- ◆ 「広報 奥出雲」に、第1回委員会の開催報告を掲載 11/15
- ◆ 「市報 うんなん」に、第1回委員会、第1回活性化する会の開催報告を掲載 11/20

今年三月に完成した尾原ダムの活用と、周辺地域の活性化を図るための行動計画「尾原ダム水源地域ビジョン」。この第一回策定委員会が九月二十日、尾原ダム管理支所で行われました。

この委員会は、ダム事業者、雲南市、奥出雲町、両市町の住民などで組織され、委員長には速水雄一雲南市長が選任されました。

事務局からビジョンの基本方針案が提示され、ビジョン策定へ向けた意見交換が行われました。

今後、住民や観光・商工関係者などで会合を重ね、平成二十五年夏までに計画をまとめます。

**ダムを生かした地域づくりを
尾原ダム水源地域ビジョン
策定委員会設立**



▲会議の様子

広報奥出雲

**尾原ダム水源地域ビジョン
策定に向け動き出しました**

尾原ダム水源地域にある様々な資源と尾原ダムの積極的な活用により、自立・持続的な活性化を図るための行動計画として尾原ダム水源地域ビジョンを国、県、関係市町、地域のみならずとともに策定します。

9月20日は第一回の「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」が開催され、速水市長が委員長に選出されました。委員会は、設立趣意、規約、策定手法、広報計画が承認されました。また、地域のみなさんや、地元関係団体を中心とする「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会」が設立され、10月23日に



第一回の作業部会開催され、具体的な取組に関する意見交換がなされました。

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会であいらつをする速水市長

市報うんなん

⑤地域イベントとの連携

尾原ダム水源地域で実施される地域交流イベント時に尾原ダム水源地域ビジョンの策定状況や概要などのパネルを掲示するPRブースを設置し、参加者への情報発信を行っています。

【実施事項】

- ◆ 「尾原ダムさくらおろち湖祭り 2012」で専用パネルの掲示、ニュースレターの配布 10/21



尾原ダムさくらおろち湖祭り 2012 でのパネル掲示

⑥地域マスメディアの活用

尾原ダム水源地域を主な活動範囲とする地域マスメディア（奥出雲ケーブルテレビ、雲南夢ネットなど）に対し、水源地域ビジョン策定委員会や活性化する会の開催案内や実施内容を積極的に伝え、地域のニュースとして取り扱ってもらうように依頼しています。

また、地元新聞社に対しても、開催案内などを投げ込みし、取材や新聞への掲載を促します。

【実施事項】

- ◆ 『雲南夢ネット「うなん情報 Now」』で第1回策定委員会の実施状況を放映 9/28
- ◆ 山陰中央新聞、朝日新聞、読売新聞の朝刊に水源地域ビジョンの策定の意義や第1回委員会の協議内容などが掲載 9/21

平成24年9月28日 うなん情報Now



尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会初会
合

秋の全国交通安全運動始まる
「イクジイ」を楽しむセミナー
雲南障害者スポーツ大会
児童ら魅了 オペラ「カルメン」
古代の斐伊川流域を考える
中学生がニュース製作「職場体験学習」

雲南夢ネットホームページ

尾原ダム

周辺振興策協議へ

ビジョン 来夏めど行動計画

策定委初会合

第1回 尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会

尾原ダム周辺水源地域ビジョン策定に向け、意欲を示す同策定委員会の速水雄一委員長（左から4人目）

今春完成した尾原ダム（雲南市木次町、奥出雲町）周辺の振興策を検討する「同ダム水源地域ビジョン策定委員会」（委員長・速水雄一、雲南市長）の初会合が20日、同市内であった。来年の夏をめどに、上流と下流域の交流の推進策などを協議し、行動計画をまとめる。

委員会は、同ダム周辺に整備されたボート、自転車の両競技施設など13施設と豊かな地域資源の有効活用を狙う。国土交通省が、ダムが立地する2市町や県と共同で設立し、地元で地域活性化に取り組む。

の組む団体の代表ら8人が委員に選ばれた。初会合では国交省が基本方針案を提示。目標を「斐伊川流域圏の連携による尾原ダム周辺地域の自立的・持続的発展」と定め、活動を支える担い手の育成や観光交流に取り組む方針を掲げた。

意見交換では、国の斐伊川・神戸川治水対策事業の3点セットとして尾原ダムなどとともに進められている、斐伊川放水路（出雲市）や大橋川改修（松江市）の早期完成に向け、多くの委員が、上流と下流の交流の必要性を指摘した。

平成 24 年 9 月 21 日（金） 山陰中央新報 朝刊

尾原ダム生かす まちづくり探る

ビジョン策定委設立

斐伊川上流に完成した尾原ダム（雲南市木次町）を生かした地域振興策を探る「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」が20日、設立された。ダムを管理する国土交通省出雲河川事務所、県、ダム・貯水池「さくらおろち湖」の位置する雲南市、奥出雲町と住民代表らで組織する。委員長に選ばれた速水雄一市長は「ダムを生かしたまちづくりに向けて構想力、実行力、指導力、説明力を発揮する委員会にしたい」とあいさつした。作業部会を設けて具体的な振興策を検討し、来年夏ごろの策定を目指す。（岡田和彦）

平成 24 年 9 月 21 日（金） 朝日新聞 朝刊

「尾原ダム」活用
ソフト面重視説明
策定委初会合
斐伊川上流に今年3月に
完成した「尾原ダム」（雲

南市）の活用や周辺地域の
活性化を進めるための行動
計画「尾原ダム水源地域ビ
ジョン」の策定委員会が20
日、同ダム管理棟で初会合
を開いた。

館健一郎・国土交通省出
雲河川事務所長、井上勝博
・奥出雲町長らのほか、作
野広和・島根大教育学部准
教授、住民団体代表らが出
席し、速水雄一・雲南市長
を委員長に選任。

事務局の同河川事務所
が、策定にあたっては、ダ
ムや周辺のボート競技施設
や自然環境の活用などのソ
フト面に重点を置くこと、
上下流域の交流活動を考え
ることなどを説明。「自立
的・持続的な流域圏の基盤
の構築」などの基本方針案
を提示した。

今後、住民や観光・商工
関係者らも交えた作業部会
を設置し、来年夏頃にもビ
ジョンをまとめる。

水源地域ビジョンは2

001年に国交省が全国
のダムで策定を呼びかけ
ており、県内では今年3
月に策定された志津見ダ
ム（飯南町）に続いて2
か所目となる。

（高田史朗）

平成 24 年 9 月 21 日（金） 読売新聞 朝刊